

外国人労働者、 企業の 3 社に 1 社が雇用 16.9%が採用「拡大」

「教育・コミュニケーション」の課題が高水準
円滑な労使関係を構築する仕組みづくりが必要

東海 4 県・外国人労働者の雇用・採用に対する企業の動向調査 (2025 年 8 月)



本件照会先

稲熊 浩明（調査担当）
帝国データバンク
名古屋支店情報部
052-561-4846（直通）

発表日

2025/10/23

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

現在、外国人を「雇用している」東海 4 県の企業は 30.3%となり、前回調査(2024 年 2 月、28.9%)から 1.4 ポイント上昇した。また、採用拡大の意向がある企業は 16.9%だった。外国人労働者の雇用・採用における課題では、「スキルや語学などの教育」「コミュニケーション」が高くなった。外国人労働者の受け入れを推進する政府主導の下、円滑な労使関係を構築する仕組みづくりが必要だろう。

※株式会社帝国データバンク名古屋支店は、外国人労働者の雇用・採用に対する東海 4 県（愛知、岐阜、三重、静岡）の企業の見解についてアンケート調査を実施した。なお、外国人労働者の雇用・採用に対する企業の動向調査は、前回 2024 年 2 月に実施し、今回で 2 回目。

調査期間：2025 年 8 月 18 日～8 月 31 日（インターネット調査）

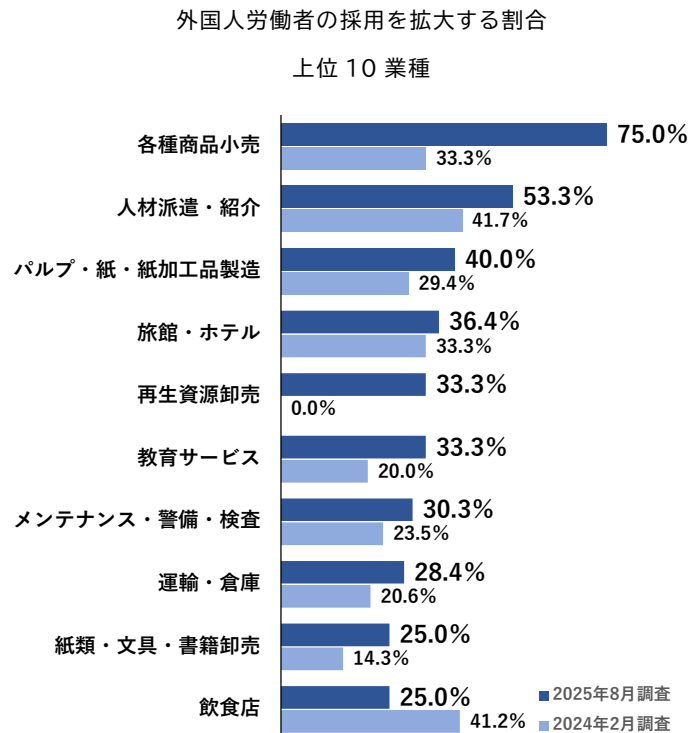
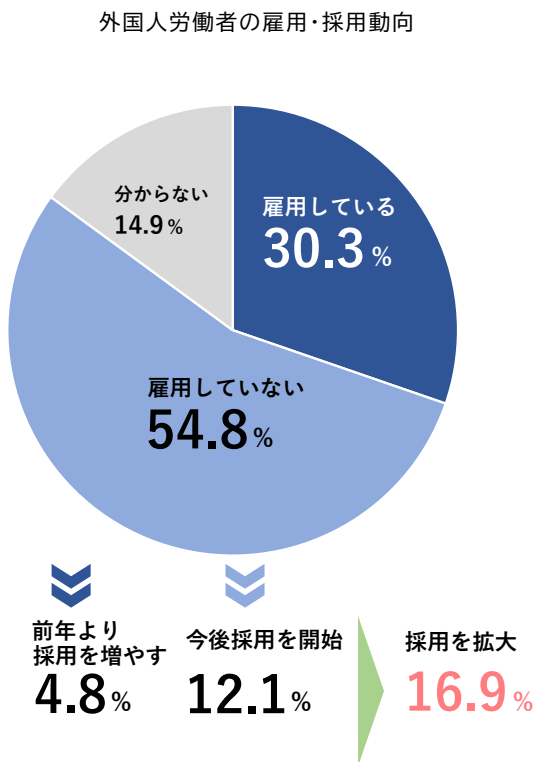
調査対象：東海 4 県の 2899 社、有効回答企業数は 1184 社（回答率 40.8%）。全国は 2 万 6162 社、有効回答企業数は 1 万 701 社（回答率 40.9%）

外国人を雇用している企業は 30.3% 小売業で採用拡大

外国人の雇用・採用について尋ねたところ、現在「雇用している」と回答した東海 4 県の企業は 30.3% (全国は 24.7%) となり、前回調査(2024 年 2 月)から 1.4 ポイント増加した。県別の内訳では「愛知」が 30.1%、「岐阜」が 26.2%、「三重」が 30.4%、「静岡」が 32.6%。一方で、現在「雇用していない」企業は 54.8% (全国 58.1%) と前回比 0.7 ポイント減となった。

また、今後の採用に関しては、現在外国人を雇用しており、かつ採用を増やす意向の企業は前回調査から 1.2 ポイント低下し、4.8%にとどまった。また、現在雇用していないが、今後新たに採用する企業は 12.1% (前回比 0.3 ポイント減) だった。両者の合計 16.9% の企業が外国人労働者を採用開始・拡大する意向があることが分かった。

外国人労働者の雇用・採用動向



業種別の外国人労働者の採用の拡大については、「各種商品小売」が 75.0% でトップとなり、次いで「人材派遣・紹介」(53.3%)、「パルプ・紙・紙加工品製造」(40.0%)、「旅館・ホテル」(36.4%) が続いた。上位 10 業種では、サービス業や小売業を中心とした業種が多くを占めている。

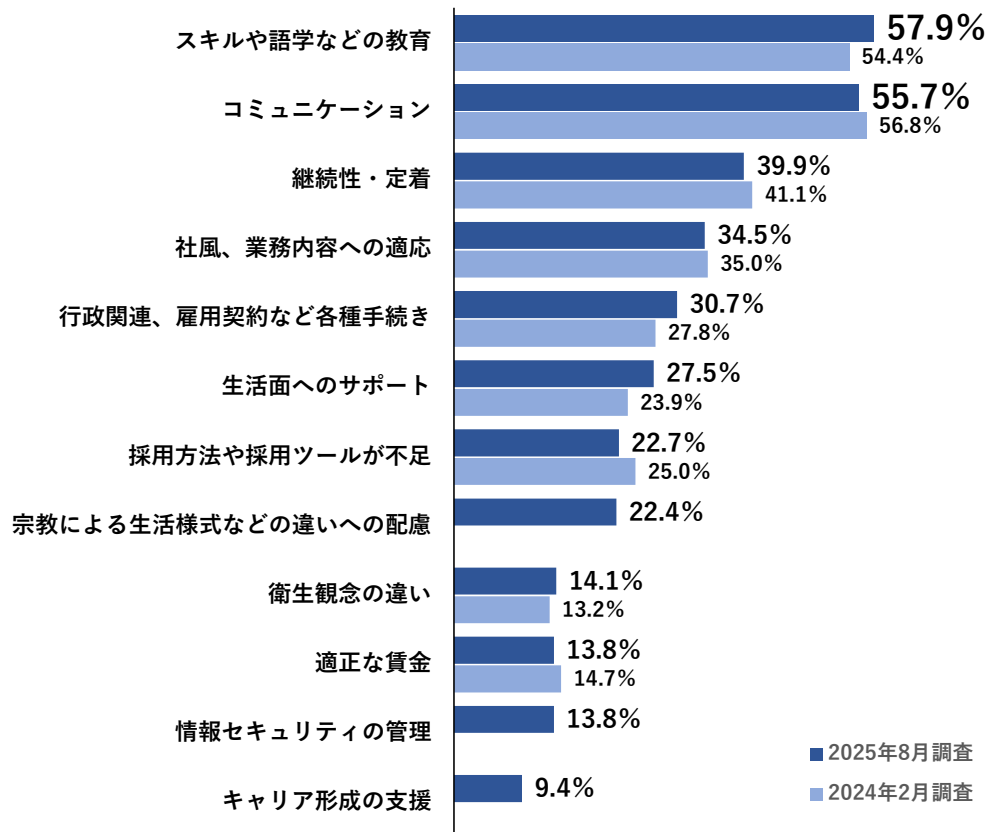
なお、これら上位 10 業種のうち、「飲食店」「運輸・倉庫」「旅館・ホテル」「パルプ・紙・紙加工品製造」「メンテナンス・警備・検査」の 5 業種が特定技能の分野に指定されている。

外国人雇用の課題、「教育・コミュニケーション」が突出するも具体的な解決策に欠ける

外国人労働者を雇用する際の課題について尋ねたところ、「スキルや語学などの教育」(57.9%)と「コミュニケーション」(55.7%)が 50%を上回り、前回調査に引き続き突出して高かった。企業からは、「現在、技術者候補の方に従事してもらっているが、語学面に関しては会社側だけでなく、本人も苦勞している部分が多い」(専門サービス、三重県)のように、具体的な解決策を講じられず、労使ともに苦勞しているといった声が多く聞かれた。

また、「宗教による生活様式などの違いへの配慮」は 22.4%であり、およそ 4 社に 1 社が課題を抱えている結果となった。実際、「過去に雇用したこともあるが、文化の違いから既存社員と融和できなかった。連絡なしでの欠勤やすぐに辞めてしまうなどの問題もあった」(建設、愛知県)といった声もあった。

外国人労働者の雇用・採用における課題



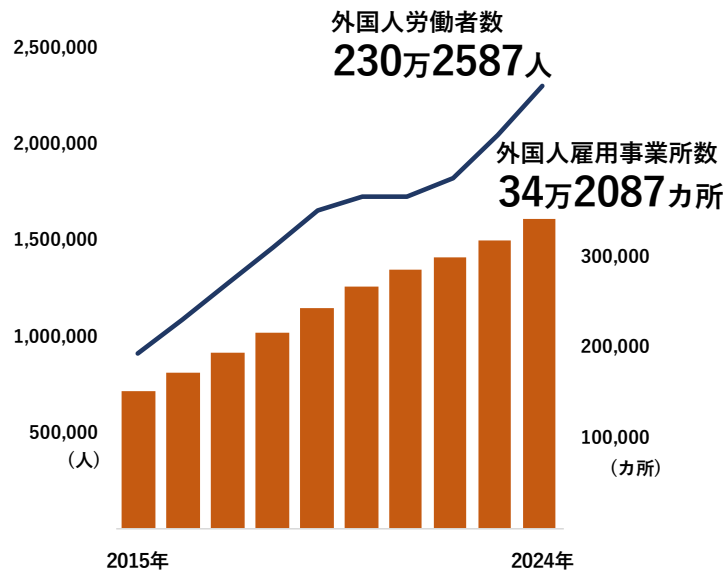
まとめ

本調査の結果、外国人労働者の採用を拡大する意向のある企業は 16.9%だった。とりわけ、人手不足感の強いサービス業などで採用拡大に意欲的な傾向が表れた。また、2024 年 9 月に特定技能の分野に自動車運送業が指定されたことにともない、運送業において外国人の採用拡大への意向が高まっている。こ

これらの業種では人手不足が高止まりしている現状を踏まえると、特に外国人労働者を雇用するニーズは強まると予想される。

また、外国人労働者の雇用・採用における課題では、「スキルや語学などの教育」「コミュニケーション」が突出しており、大きな障壁となっている。今後も外国人労働者は増加していくとみられるが、個々の企業で具体的な解決策を講じるには限界もあることから、外国人労働者の受け入れを推進する政府が主導し、円滑な労使関係を構築する仕組みづくりが必要であろう。

<参考>外国人労働者・雇用事業所の推移



出所：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況について(各年10月)」

<参考>企業からの声

	主な企業からの声	業種 51 分類
雇用・採用が順調に進んでいる、または前向きな意見	○ 今後、雇用確保のため必要になると思われる	その他サービス
	○ 職人育成を目指した採用を考えていきたい。そのため、若年雇用を目指していきたい。外国人雇用は、正社員雇用として、長期的に定着することが可能であれば考えてみたい	出版・印刷
	○ 人にもよるが日本人と変わらないかそれ以上のパフォーマンスを発揮してくれている	鉄鋼・非鉄・鋳業
雇用・採用に困難がある、または否定的な意見	● 協力業者(二次下請け)の技能工については外国人の比率が増えているが、仕上精度に対する日本人との感覚差があり指導に苦労している。また建設における専門用語について説明し理解させる事が非常に困難であり壁は高いと感じる	建設
	● 言葉の問題もあるが、専門的な業務ができるまでの期間が長くなる。せっかく教えて作業ができるようになって退職する場合があります雇用は慎重に行う必要がある	機械製造
	● 過去に外国人の採用を実施。既存社員とのコミュニケーションが課題となったほか、指導・育成についても十分な対応ができなかったため、社内で採用に対して否定的な意見が大多数である	その他サービス